

後藤勇さん  
県指導農業士を退任 知事感謝状

福島県指導農業士を長年勤められた後藤勇さん（青田字寄松）が平成25年度をもって退任され、2月6日、福島市で開催された総会で知事から感謝状を授与されました。

後藤さんは、新規就農者や青年農業者に経営や技術的な指導をしてきました。また、個人としても、水稻や施設園芸を主に営農し、会社を立ち上げ、加工・販売に取り組むなど、農作物の6次化にも力を入れています。



▲知事（左）から感謝状を受け取る後藤さん（右）

橋本清春さん  
100歳を祝いました



▲ひ孫の清悟くん優菜ちゃんから花束をもらい満面の笑みの橋本さん

橋本清春さん（白岩字宮田）が3月9日に満100歳を迎え、自宅で100歳賀寿の贈呈式が行われました。

橋本さんは、あいさつで「100歳を迎えたが、気持ちはまだ100歳ではない」と話し、元気な様子を見せました。

橋本さんは、子6人、孫19人、ひ孫30人、玄孫2人の家族がおり、大勢の家族に見守られながらの式となりました。



▲白沢第1分団（上）と本宮第8分団（下）に交付された車両

白沢第1分団・本宮第8分団  
消防車両が交付されました

3月2日、市役所で本宮市消防団の車両交付式が執り行われました。今回車両が更新されたのは、白沢第1分団のポンプ車と本宮第8分団の積載車。会場に参列した約60人が見守る中、高松市長から各分団長へ車両が交付されました。その後、各分団へ車両が配備され、団長からは「地元の火災に対応するためこれから20年間大切に使用してほしい」と訓辞がありました。今後も車両の更新計画に基づいて計画的に消防車両を更新していきます。

消防団員研修会  
火災を想定した出場訓練を学ぶ



▲木造建物火災の特長について学ぶ団員の皆さん

3月2日、しらかわカルチャーセンターを会場に消防団員研修会が行われました。安達地方広域行政組合南消防署の二階堂照己副署長を講師に迎え、「出場訓練と本宮映画劇場に係る警防計画について」と題して講演がありました。参加した約230人の団員の皆さんは、今年で築100年を迎えた本宮映画劇場を火災から守る計画と、実際の火災現場での知識や注意点について真剣に聞き入っていました。

渡辺繁夫さん  
厚生労働大臣より感謝状



▲感謝状を伝達された渡辺さん（右）

渡辺繁夫さん（糠沢字礼堂）が日本赤十字社に多額の寄付をされたとして、昨年12月26日、厚生労働大臣から感謝状が贈られました。2月28日、市役所で感謝状の伝達式が行われ、日本赤十字社本宮市地区長である高松市長から感謝状が手渡されました。渡辺さんは、積極的な地域活動が認められ昨年8月には、いきいき長寿県民賞も受賞しています。

こんにちは市長です vol.20



本宮市長  
高松義行

「平成26年度のスタートです」

皆さん、こんにちは。

日々、温かさも増し、吹く風も柔らかく、春の気配を感じる季節となりました。

さて、3月9日に、昨年7月31日に埼玉県上尾市と本宮市が友好都市協定を締結したことを記念して、島村上尾市長をはじめ、ご来賓、多くの各種団体の皆さんの出席をいただき、みずいろ公園で上尾市の木「かし」と本宮市の木「まゆみ」の記念植樹を行いました。さらには上尾市と市民の皆様との友好が深まることを願うものです。

また、3月9日と11日の2日間にわたり、「復興の集い2014」が開催されました。

震災により尊い命を落とされました多くの犠牲者の皆様への追悼と現在も除染のスピードアップによる復興の加速に取り組んでいること、原子力災害の影響により多くの方々が避難を余儀なくされている現実など、この事実を風化させてはならないという思いのなかで、3回目の開催となりました。

9日の「食の交流会」・「復興祈念コンサート」、11日の

「復興式典」などをメインに実施され、両日とも多くの市民の皆様にご参加いただき、皆様とともに本市の復興に向けての思いを共有することができました。改めて御礼申し上げます。

さて、新年度がスタートします。平成26年度予算の本宮市のスローガンを笑顔、元気、未来へ、復興実感、福島へのそのまち もとみや」として予算を編成し、3月市議会定例会において慎重なる審議をいただきました。

本年度の予算の特徴は、除染対策事業につきましても、平成25年度は補正予算で対応いたしました。今年度は当初予算から計上いたしました結果、一般会計で前年度当初予算と比較し、70%増の320億8,700万円と過去最大の予算となったことです。今後も事務事業の見直しを行いながら、市民サービスの充実に努めてまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

4月は進学に就職にと新たなスタートの季節です。また、季節の変わり目でもありますが、体調管理に充分ご留意のうえ、お過ごしください。（3月19日執筆）

